

「大学の国際協力活動に関するアンケート2007」

～大学らしさが活きる国際協力活動の支援を目指して～

■調査の概要

「国際協カイニシアティブ」の一環として、我が国の大学の援助リソース(人材や教育研究機能など)が有効に活用される環境を整備するために、国際協力活動に関する各大学の関心事項及び活動概況の調査を行った。

- (1) 調査目的:大学の国際協力活動に関する関心事項及び活動概況の把握
- (2) 調査対象:全国の国公立大学の学部・研究科
- (3) 調査方法:全国の国公立大学を対象に、郵送及び「国際協カイニシアティブ」ホームページによりアンケート調査への協力依頼をし、各大学からはアンケート書式(Excel ファイル)を電子メールへ添付する方法にて回答を得た。
- (4) 調査期間:2007年10月2日～10月24日

<注釈1>

本アンケートにおける「国際協力活動」とは、開発途上国の人材育成支援に関する以下のような活動全般を指します。

(例)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| ・留学生の受入れ:指導 | ・共同研究の実施 |
| ・研修員の受け入れ:指導 | ・教員等の海外への派遣:指導(1年以上、1年未満) |
| ・教員等の海外への派遣:講演(セミナー等の実施) | ・業務実施契約に基づくプロジェクトの実施:受託 |
| ・プロジェクト評価等の調査・分析業務の実施:受託 | ・国際機関ほかとの連携による諸活動 等 |

<注釈2>

開発途上国の定義:本調査での「開発途上国」とは、経済協力開発機構(OECD)の開発援助委員会(DAC)が作成する「援助受取国・地域リスト」(DACリスト)第1部に記載されている国及び地域を指します。(別添参照)

■回収結果

	発送数	回収数 (単位:学校)	回収数 (単位:学部・研究科)
1.国立	87	73	644
2.公立	86	47	146
3.私立	584	393	1,483
合計	757	513	2,273

■学部研究科の分野別内訳

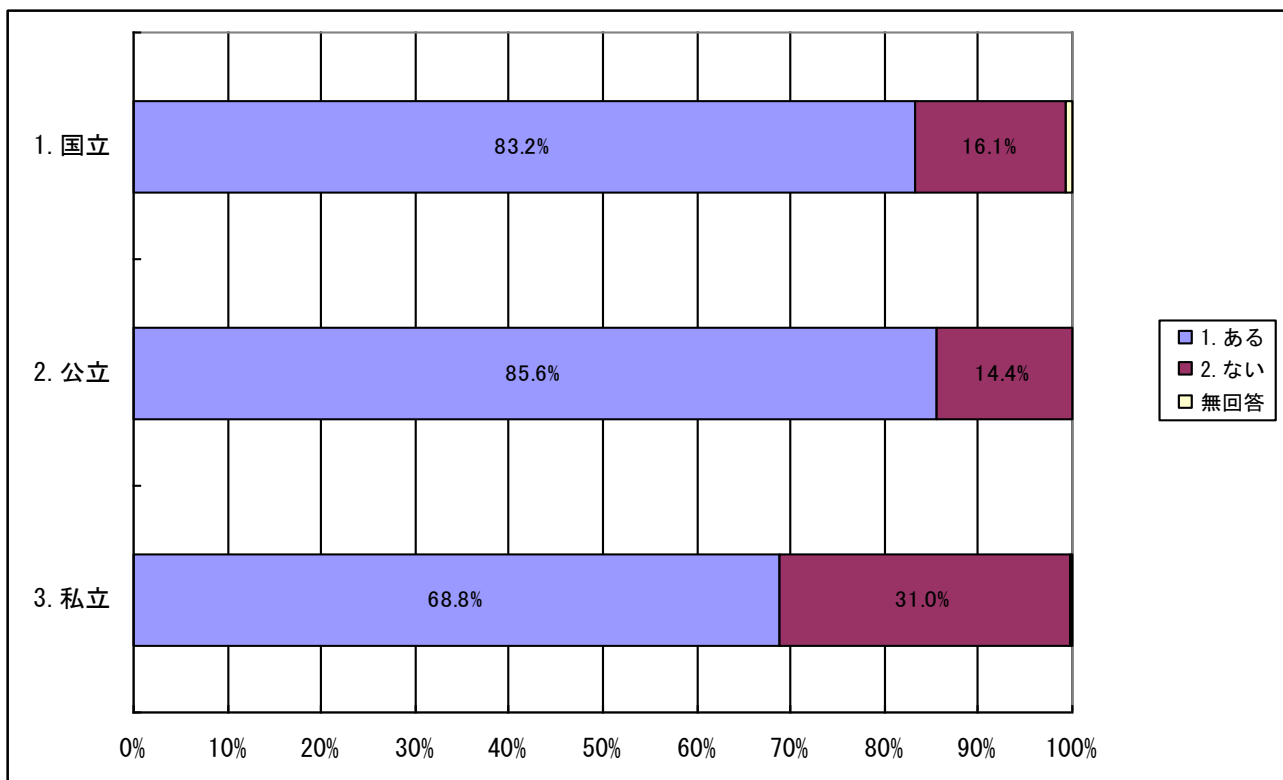
	人文学	社会科学	理学	工学	農学	保健	教育	家政	芸術	商船	その他	総計
1.国立 (n=644)	50 7.8%	90 14.0%	65 10.1%	111 17.2%	59 9.2%	114 17.7%	76 11.8%	3 0.5%	1 0.2%	1 0.2%	74 11.5%	644 100.0%
2.公立 (n=146)	10 6.8%	34 23.3%	6 4.1%	19 13.0%	3 2.1%	45 30.8%	1 0.7%	2 1.4%	15 10.3%	0 0.0%	11 7.5%	146 100.0%
3.私立 (n=1483)	304 20.5%	511 34%	54 4%	140 9%	20 1%	189 13%	47 3%	47 3%	69 5%	0 0%	102 7%	1,483 100%
全体 (n=2273)	364 16.0%	635 27.9%	125 5.5%	270 11.9%	82 3.6%	348 15.3%	124 5.5%	52 2.3%	85 3.7%	1 0.0%	187 8.2%	2,273 100.0%

※分類は学校基本調査(平成 18 年度)の学科系統分類表を参考とした。

■設問

1. 国際協力活動に関する関心
2. 国際協力活動の経験代表的な事例
3. 開発途上国や地域との関係強化
4. 国際協力活動に関する援助機関との連携、援助機関との連携による活動 (選択肢)

1. 国際協力活動に関する関心

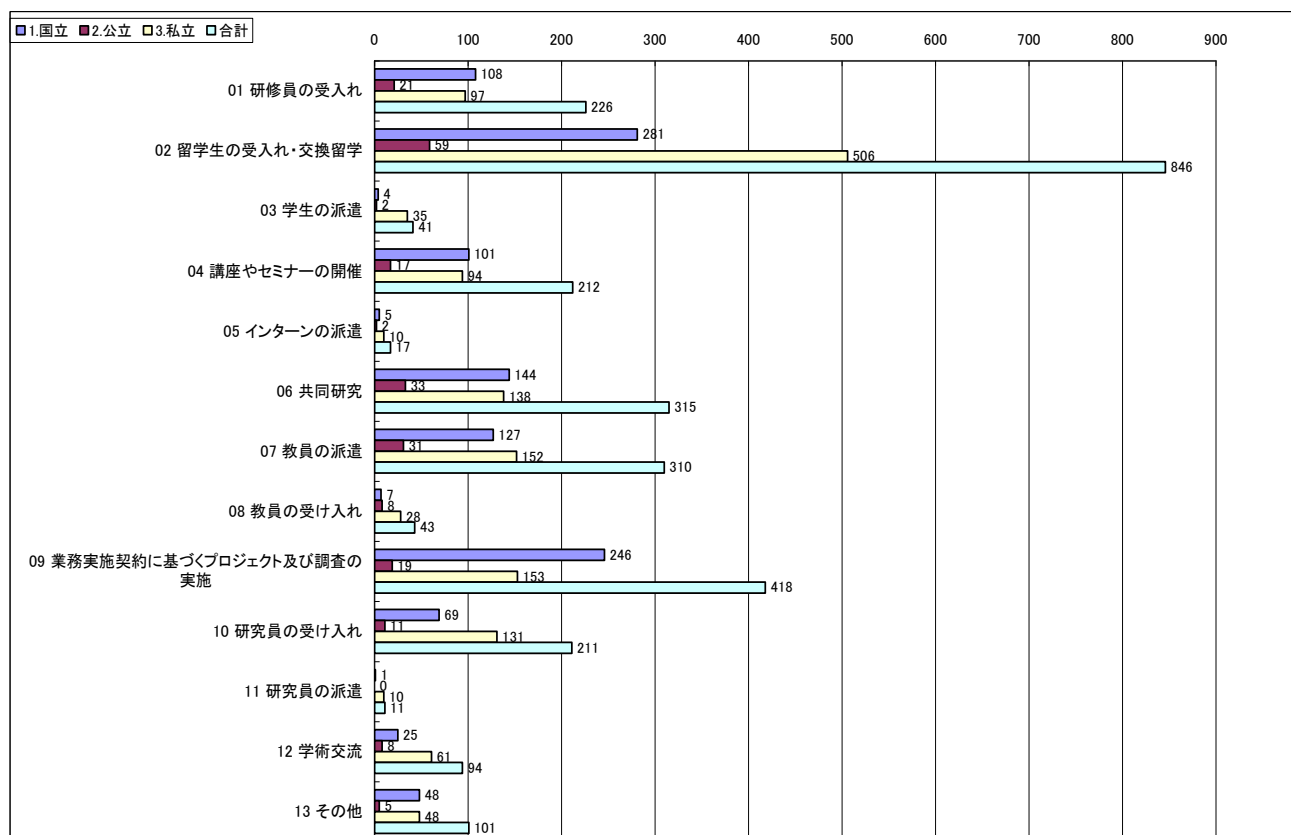


法人区分	ある	ない	無回答	合計
国立 (n=644)	536 83.2%	104 16.1%	4 0.6%	644 28.3%
公立 (n=146)	125 85.6%	21 14.4%	0 0.0%	146 6.4%
私立 (n=1483)	1,021 68.8%	460 31%	2 0%	1,483 65%
全体 (n=2273)	1,682 74.0%	585 25.7%	6 0.3%	2,273 100.0%

2. 国際協力活動の経験代表的な事例

※ 複数回答

回答を類型化し分類・集計

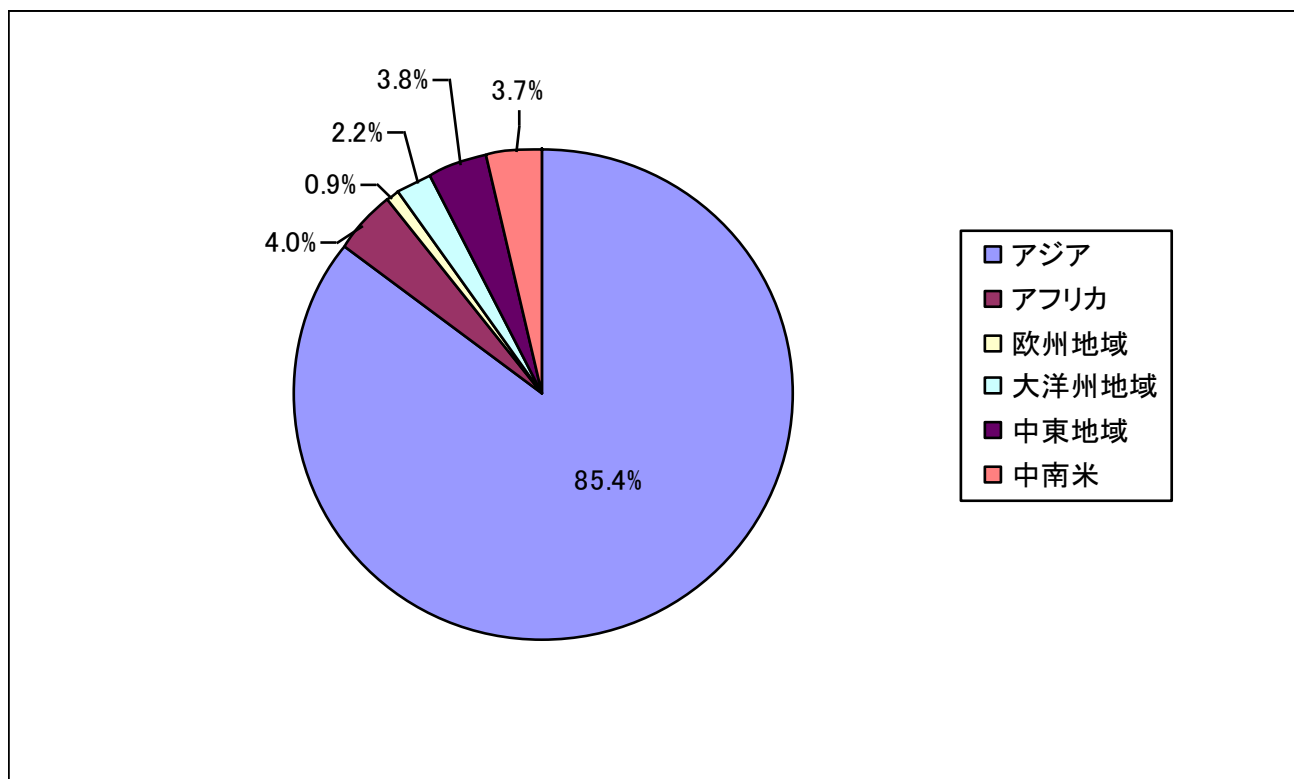


回答	1.国立 (n=1166)	2.公立 (n=216)	3.私立 (n=1463)	合計 (n=2845)
01 研修員の受入れ	108	21	97	226
02 留学生の受入れ・交換留学	281	59	506	846
03 学生の派遣	4	2	35	41
04 講座やセミナーの開催	101	17	94	212
05 インターンの派遣	5	2	10	17
06 共同研究	144	33	138	315
07 教員の派遣	127	31	152	310
08 教員の受け入れ	7	8	28	43
09 業務実施契約に基づくプロジェクト及び調査の実施	246	19	153	418
10 研究員の受け入れ	69	11	131	211
11 研究員の派遣	1	0	10	11
12 学術交流	25	8	61	94
13 その他	48	5	48	101

3. 開発途上国や地域との関係強化

※複数回答

【地域】



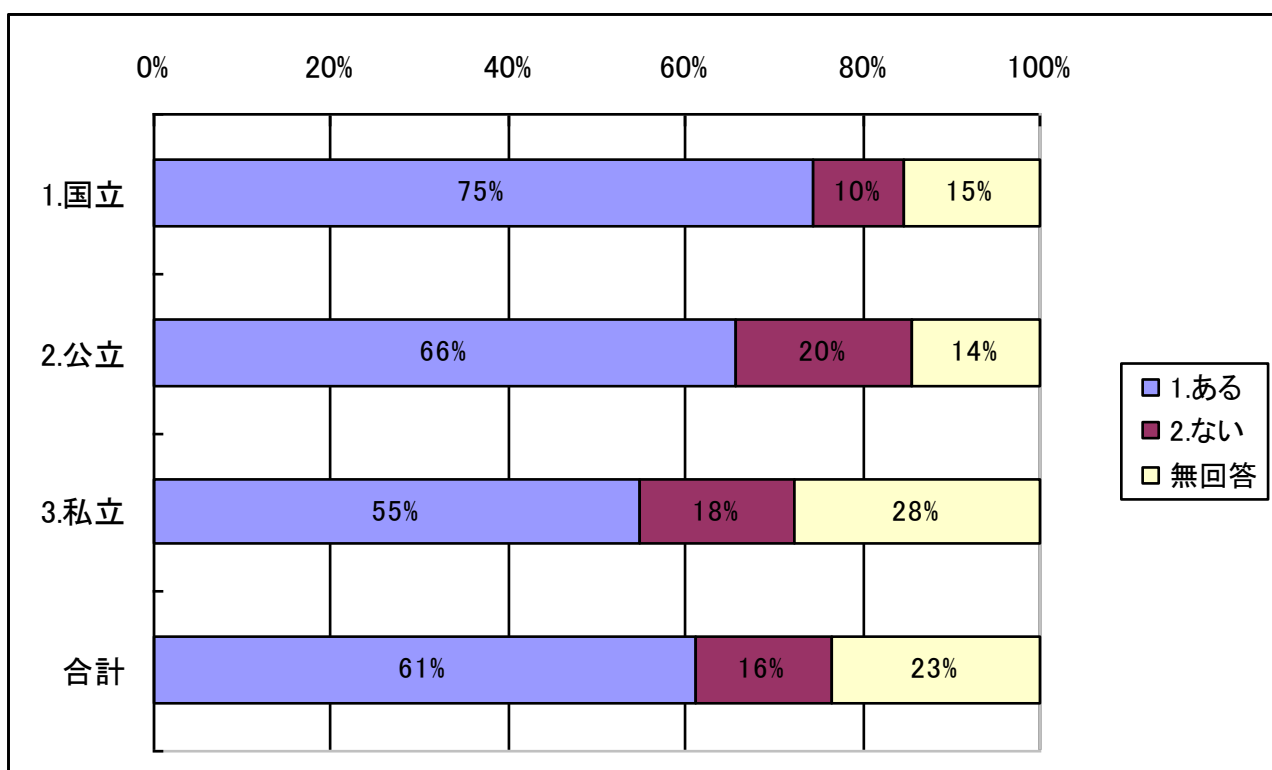
地域名	アジア	アフリカ	欧州地域	大洋州地域	中東地域	中南米	合計
国数	1,971	93	21	50	88	85	2,308
	85.4%	4.0%	0.9%	2.2%	3.8%	3.7%	100.0%

【国】(上位 30 カ国)

1 位	中国	11 位	ミャンマー	21 位	アルゼンチン
2 位	タイ	12 位	バングラデシュ	22 位	サウジアラビア
3 位	インドネシア	13 位	スリランカ	23 位	パキスタン
4 位	ベトナム	14 位	アフガニスタン	24 位	タンザニア
5 位	フィリピン	15 位	ネパール	25 位	東ティモール
6 位	インド	16 位	ブラジル	26 位	キルギス
7 位	マレーシア	17 位	エジプト	27 位	ザンビア
8 位	モンゴル	18 位	ケニア	28 位	チリ
9 位	ラオス	19 位	メキシコ	29 位	イラン
10 位	カンボジア	20 位	フィジー	30 位	ペルー

4. 国際協力活動に関する援助機関との連携

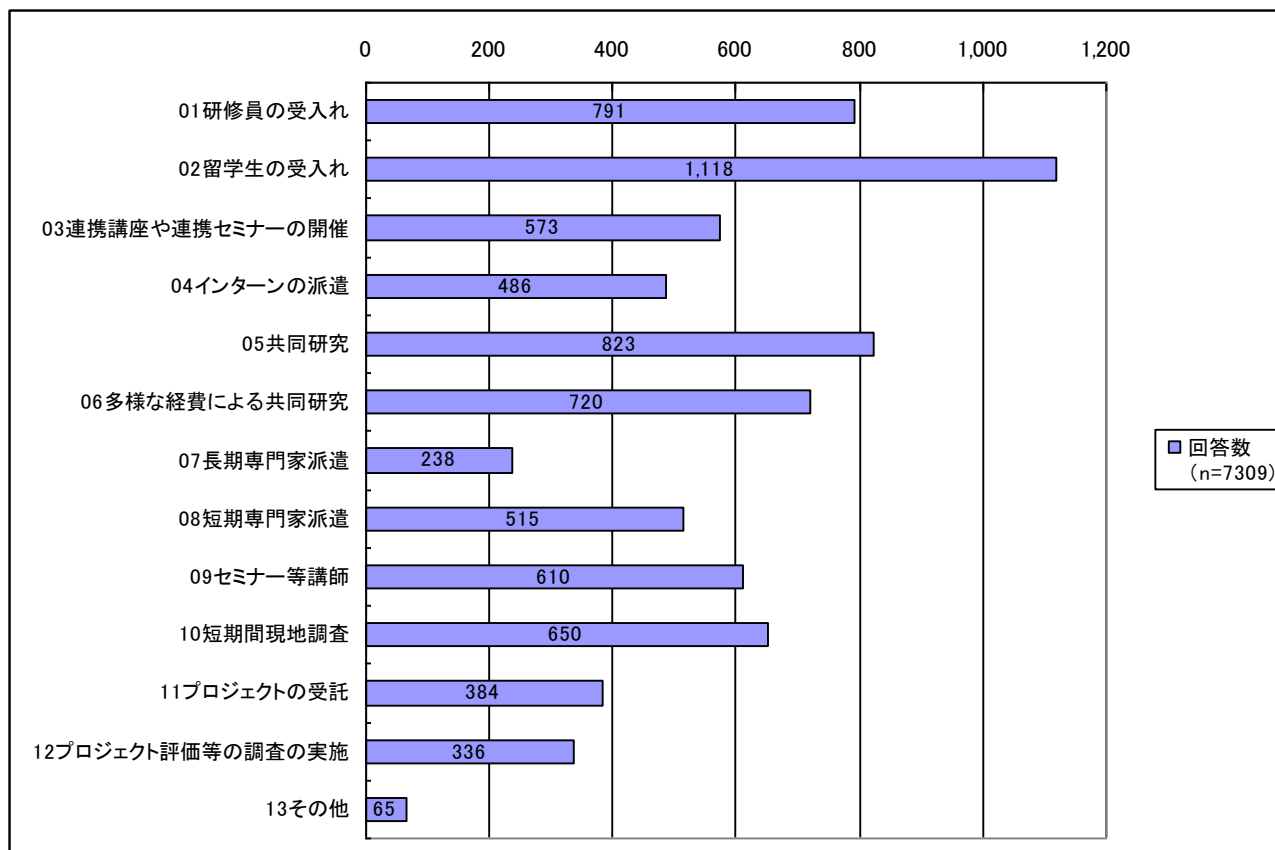
	1.ある	2.ない	無回答	合計
1.国立 (n=644)	480 74.5%	66 10.2%	98 15.2%	644 100.0%
2.公立 (n=146)	96 65.8%	29 19.9%	21 14.4%	146 100.0%
3.私立 (n=1483)	811 54.7%	260 18%	412 28%	1,483 100%
合計 (n=2273)	1,387 61.0%	355 15.6%	531 23.4%	2,273 100.0%



4. 援助機関との連携による活動（選択肢）

※親設問で「もつ」と回答した大学のみ対象

複数回答



【ランキング】

順位	選択肢	回答数 (n=7309)
1 位	留学生の受入れ	1,118
2 位	共同研究	823
3 位	研修員の受入れ	791
4 位	多様な経費による共同研究	720
5 位	短期間現地調査	650
6 位	セミナー等講師	610
7 位	連携講座や連携セミナーの開催	573
8 位	短期専門家派遣	515
9 位	インターンの派遣	486
10 位	プロジェクトの受託	384
11 位	プロジェクト評価等の調査の実施	336
12 位	長期専門家派遣	238
13 位	その他	65

■開発途上国一覧

アゼルバイジャン	カンボジア	スワジランド	ニカラグア	マイヨット島
アフガニスタン	ギニア	セーシェル	ニジェール	マケドニア
アルジェリア	ギニアビサウ	セネガル	ネパール	マダガスカル
アルゼンチン	キューバ	セルビア・モンテネグロ	バーレーン	マラウイ
アルバニア	キリバス	セントクリストファー・ネーヴィス	ハイチ	マリ
アルメニア	キルギス	セントビンセント	パキスタン	マレーシア
アンギラ	グアテマラ	セントヘレナ	パナマ	ミクロネシア
アンゴラ	クック諸島	セントルシア	パヌアツ	ミャンマー
アンティグアバーブーダ	グルジア	ソマリア	パプアニューギニア	メキシコ
イエメン	グレナダ	ソロモン	パラオ	モーリシャス
イラク	クロアチア	タークス・カイコス	パラグアイ	モーリタニア
イラン	ケニア	タイ	バルバドス	モザンビーク
インド	コートジボワール	タジキスタン	パレスチナ自治地域	モルディブ
インドネシア	コスタリカ	タンザニア	バングラディシュ	モルドバ
ウガンダ	コモロ	チャド	フィジー	モロッコ
ウズベキスタン	コロンビア	チュニジア	フィリピン	モンゴル
ウルグアイ	コンゴ共和国	チリ	ブータン	モントセラト
エクアドル	コンゴ民主共和国	ツバル	ブラジル	ヨルダン
エジプト	サウジアラビア	トーゴ	ブルキナファソ	ラオス
エチオピア	サモア	トケラウ諸島	ブルンジ	リベリア
エリトリア	サントメ・プリンシペ	ドミニカ共和国	ベトナム	ルワンダ
エルサルバドル	ザンビア	ドミニカ国	ベナン	レソト
オマーン	シエラレオネ	トリニダード・トバコ	ベネズエラ	レバノン
ガーナ	ジブチ	トルクメニスタン	ベリーズ	ワリス・フツナ
カーボヴェルデ	ジャマイカ	トルコ	ペルー	赤道ギニア
ガイアナ	シリア	トンガ	ボスニアヘルツェゴビナ	中央アフリカ
カザフスタン	ジンバブエ	ナイジェリア	ボツワナ	中国
ガボン	スーダン	ナウル	ボリビア	東ティモール
カメルーン	スリナム	ナミビア	ホンジュラス	南アフリカ共和国
ガンビア	スリランカ	ニウエ	マーシャル	北朝鮮

詳細は、DAC 援助受取国・地域リスト(2004 年)をご参照ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shiryo/hakusyo/05_hakusho/ODA2005/html/siryu2/sl3000000.htm